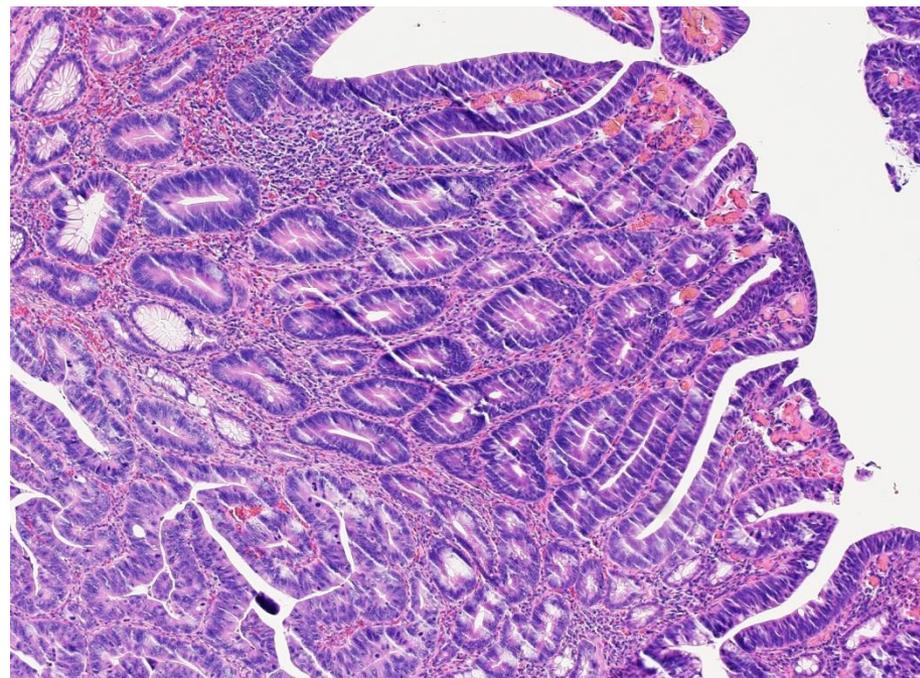
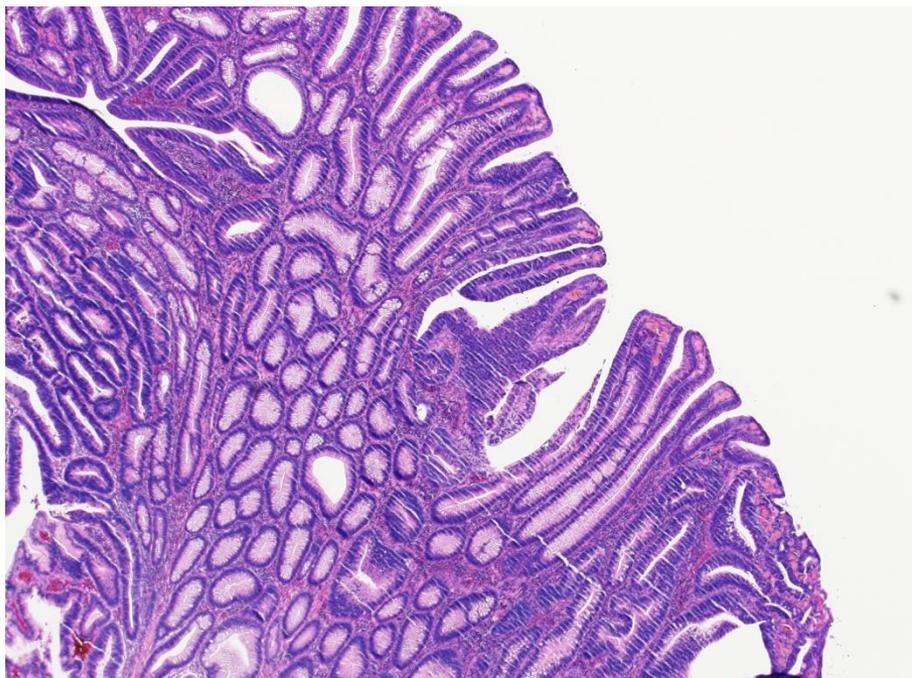


問題1.写真に示した標本の原因として考えられるのはどれか

- ①ホルマリン固定不良
- ②脱脂不良
- ③面だし不良
- ④ブロックの過冷却
- ⑤石灰化



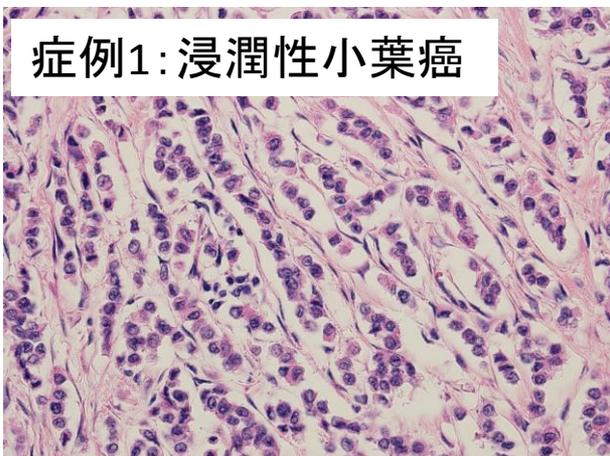
正解：④ メスに並行した連続傷がついている。チャタリングの標本である。原因としてブロックの過冷却、薄切速度が速い場合、またブロックの固定不良の時に生じる。対策としてはブロックを冷やし過ぎず、ゆっくりと薄切する。

問題2.乳癌患者2症例のHE標本です。

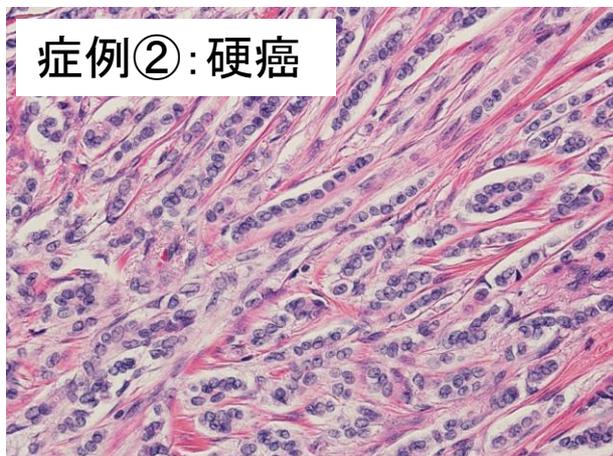
この両者の鑑別に最も有用な免疫染色の組み合わせはどれか。

- ①α-SMA
- ②chromograninA
- ③pan-keratin
- ④E-cadherin
- ⑤Estrogen receptor

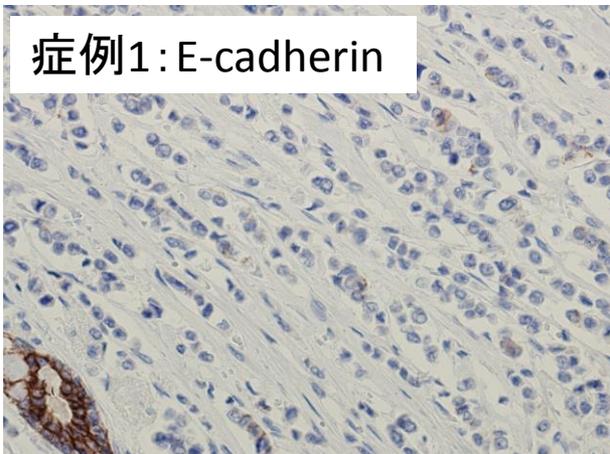
症例1: 浸潤性小葉癌



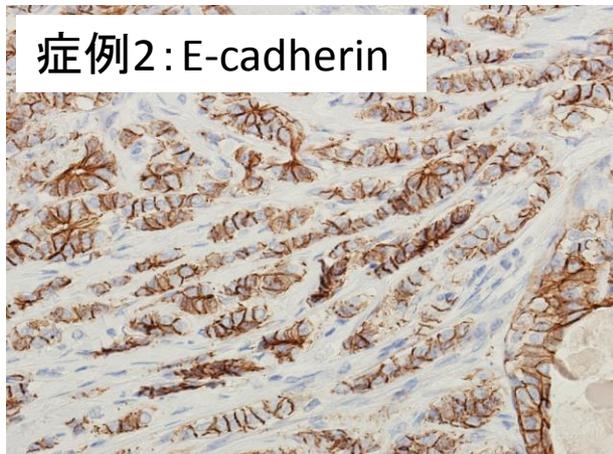
症例②: 硬癌



症例1: E-cadherin



症例2: E-cadherin



正解: ④ 症例①は浸潤性小葉癌、症例②は硬癌の症例である。

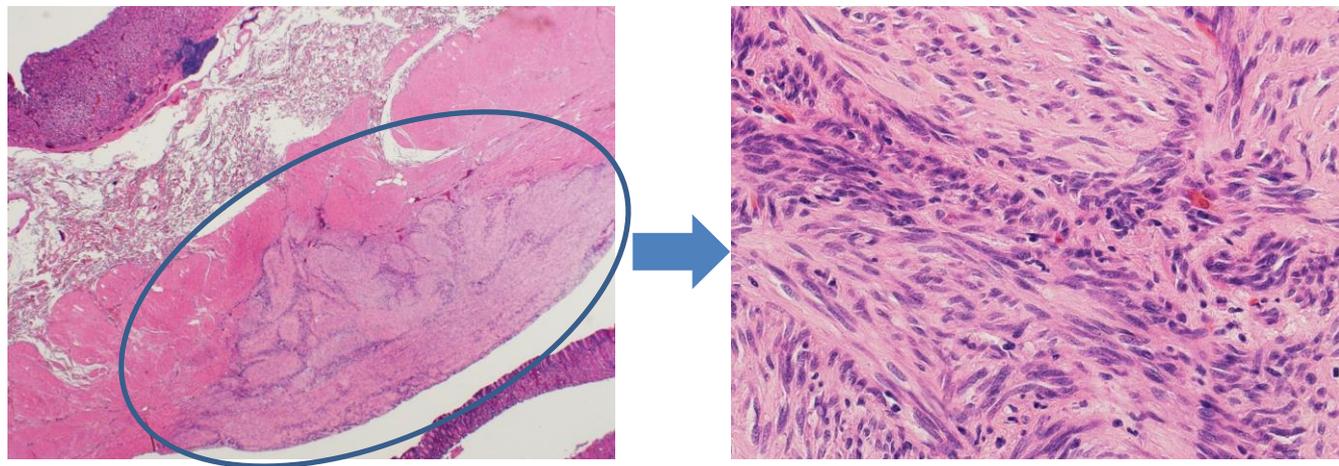
症例①と②共に線状・小索状配列を主体とした組織像を認め、硬癌または浸潤性小葉癌を疑う所見である。症例①と②を比べると、①の方が細胞の結合が緩く、好酸性の胞体を認めるため小葉癌を疑う所見ではあるが、鑑別は難しい。

E-cadherinは上皮細胞の接着分子であり、乳管癌と小葉癌の鑑別に用いられる。

大部分の症例で乳管癌は陽性を示し、小葉癌は陰性を示す。

問題3.胃のHE標本と免疫染色を示す。この染色結果により考えられる疾患はどれか。

- ①平滑筋腫
- ②神経鞘腫
- ③GIST
- ④カルチノイド
- ⑤悪性リンパ腫



C-KIT

CD34

α -SMA

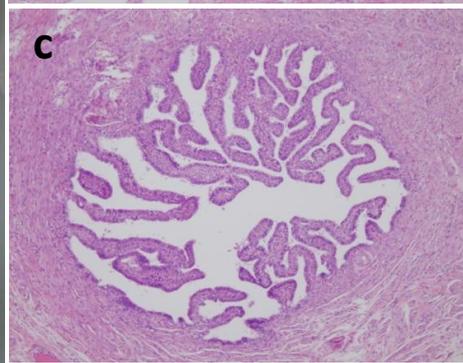
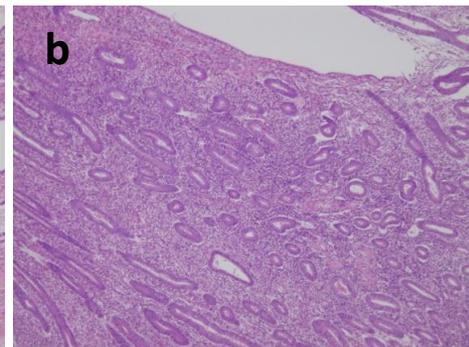
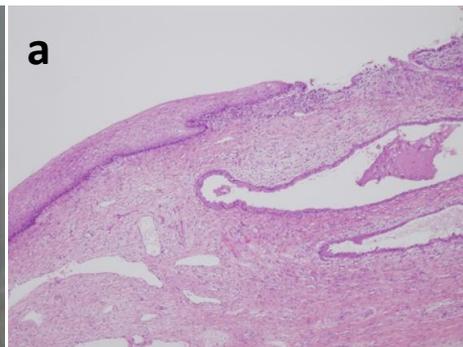
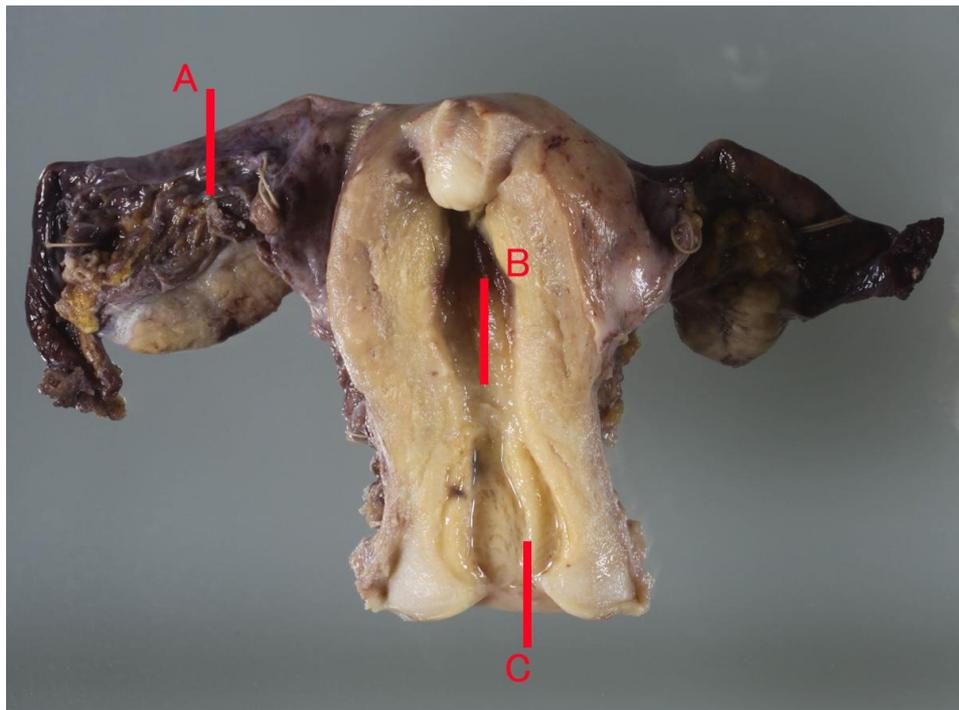
S-100

正解：③ この標本に示された腫瘍は胃の粘膜下腫瘍である。平滑筋腫、神経鞘腫、GISTともに消化管間葉系腫瘍だが、これらを鑑別する免疫染色としてc-kit,CD34, α -SMA,S-100を用いる。GISTはc-kit陽性で、文献により多少異なるが、CD34(約70%)、 α -SMA(約20%)で陽性を示す。

問題4.ホルマリン固定臓器の肉眼写真に示すA～Cの部位と、HE染色像a～cの組み合わせで正しい選択枝はどれですか。

肉眼写真

(a,b,c) : HE染色対物 x4

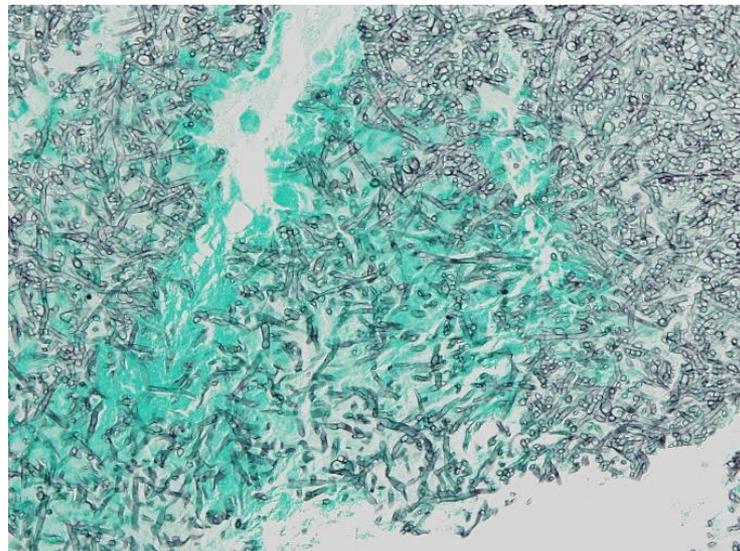
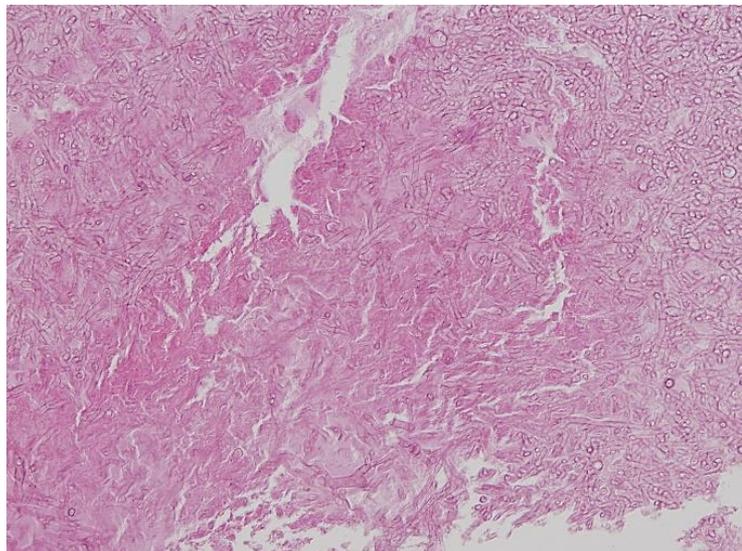


- ① A-a, B-b, C-c
- ② A-b, B-a, C-c
- ③ A-c, B-b, C-a
- ④ A-a, B-c, C-b
- ⑤ A-c, B-a, C-b

正解: ③ 問題の臓器は子宮および両付属器で、A-卵管、B-子宮内膜、C-子宮腔部、頸部の移行部である。A-卵管のHE像cは単層円柱上皮が管内腔に乳頭状に突出する。B-子宮内膜のHE像bは輪切りや縦切りで子宮腺が見られる。C-子宮腔部、頸部の移行部のHE像aは腔部の重層扁平上皮と頸部の単層円柱上皮の境界である。

問題5.HE染色と特殊染色を示す。この特殊染色の染色名・使用する試薬および染料について、正しい組み合わせはどれですか。

- ①グロコット染色ーメセナミン銀ーライトグリーン
- ②グロコット染色ーメセナミン銀ーケルンエヒトロート
- ③グロコット染色ーアンモニア銀ーライトグリーン
- ④グリドリー染色ーフォイルゲン液ーメタニール・イエロー
- ⑤グリドリー染色ーフォイルゲン液ーケルンエヒトロート



正解: ① 問題の組織はアスペルギローマで、特殊染色は真菌の染色法であるグロコット染色。グロコット染色は真菌中の多糖類をクロム酸で酸化し、生じたアルデヒド基にメセナミン銀を作用させ金属銀として沈着させる。また後染色にはライトグリーンが用いられる。グリドリー染色も同じ真菌の染色であるが、メセナミン銀ではなくフォイルゲン液、後染色にはメタニールイエローを用いる。